

情報フロンティア研究会（第1回）における 構成員の主な意見

1. フロンティアについて

(1) フロンティアの全体像

① フロンティアの捉え方、切り口

○技術のフロンティア、サービスのフロンティア、ニッチのフロンティア、マスのフロンティア
・技術のフロンティアとサービスのフロンティアがあり、社会的普及を考えたときに、ニッチのフロンティアもあれば、マスのフロンティアもあり、サービスの観点からは切り分けて考える必要がある。

○社会的認識への対応

- ・社会・文化の基盤となっている社会的な認識や価値体系を変えていく必要があり、それが日本社会全体の一つの大きなフロンティアになっている。
- ・技術だけでなく、基本的な社会・文化についても考慮する必要がある。

○グローバルマーケットとの関係

- ・グローバルネットワークの中で、日本市場から始めて海外に進出するか、BRIC市場から始めて日本に進出するかを考えるべき。

○技術投資としてのソフトの認識

- ・今後は、ハードだけでなくソフトも技術投資として認識しなければならない。

② 今後の方向性

○技術・ビジネスモデルのイノベーション、知的統合、コミュニティ

- ・技術のイノベーション、ビジネスモデルのイノベーションの一方だけでは、フロンティアは起きない。技術のイノベーションの過程で壁を乗り越えるためには「知的統合」、ビジネスモデルのイノベーションの過程で壁を乗り越えるためには「コミュニティ」が鍵となる。

○垂直トランザクション・水平トランザクション

- ・フロンティアを実現させるためには、現在の垂直トランザクション（広域・高速処理）型のビジネスモデルを、水平トランザクション（知の創発、蓄積、活用）型とうまく融合させることが重要。後者は、ネットワークを活用して人々の認識、記憶、判断、行動をうまくつなげていくことが必要。

○モジュール型・インテグラル型

- ・モジュール型、インテグラル型というのは、両方の要素が組み合わさって初めて社会的に機能するので、日本は単に欧米に追いつくだけではなく、欧米より強くなるモデルを見出す必要がある。

(2) 個別フロンティアに係る課題

○膨大な情報の利活用

- ・ボトムアップに構成される「スケールフリーネットワーク」や「スモールワールド」といったネットワークのパラダイムを、いかに産業面に活用するかという観点からユビキタスの環境を考えると、主役のはずの「人」に対する注目が弱い。実世界の膨大な情報をいかに吸い取って、ネットの世界と融合させ、新しい情報インフラとして我々の生活を良くしていくかを考えると、リスク回避などの課題にもっと貢献できるのではないか。

○安全・信頼への対応

- ・検索を含め今のインターネットに一番欠けているのは、安心・信頼。官民が協力して安全なインターネットを構築しないと、ネガティブなイメージを払拭できない。

○無意識に受けられるサービスへの取組み、無数のコミュニティの活用

- ・ネットワークを介したプライベート・コンシェルジュのような無意識に受けられるサービスを考えれば、新しい領域が生まれる。また、趣味・嗜好、年齢、性別といった切り口による無数の論理的なコミュニティに規則性が見いだされれば、市場やニーズを把握するための指標になりうる。

○課金によるイノベーション

- ・将来的には、ピュアなP2P技術により、音楽の作り手が直接聞き手に課金できるようになる。また、電子マネーの記憶力を活用して、同じコミュニティに所属しているかを判断してコンテンツを提示することも可能。そういう意味では、課金もイノベーション実現に役立つのではないか。

○ベンチャー企業の人材問題への対応

- ・比較的新しく成長が見込まれる市場において、鍵となるのはベンチャー企業。ただ実際にはベンチャー企業の経営陣の人材が欠けており、人材の流動化・育成を含めて重要な課題。また、ベンチャーも世の中に貢献する重要な仕事の一つだと皆が認識する社会構造・社会的環境も必要。

○エンドユーザのリテラシーの向上

- ・フロンティアを広めていく上で重要な視点は、エンドユーザのリテラシーをいかに喚起するかということ。IT導入をサポートする仕組みになっていない現状の企業構造、社会構造を、5年程度の時間軸で変えていく必要。
- ・経営者や自治体の長のITリテラシーの向上が重要。いかにインターネットを使いこなすノウハウを平均化し、経営者と自治体の長が広く知識として持つようにしていくかが課題。

2. 今後の進め方について

- 未来がどういう姿になろうとしていて、そのための的確な環境づくりとはどういうものかについて、議論していく中でイメージが浮かび上がってくるのが重要。
- 確実に押さえるべき技術や理論がある一方で、社会、産業、サービスのフロンティアを明確に意識しないと、フロンティアの姿は見えない。